



家畜保健衛生所だより

R7.9.30

【届出伝染病】アカリンドニ症が発生



9月26日、松山市北梅本町で飼養されているニホンミツバチにおいて、届出伝染病であるアカリンドニ症が確認されました。

アカリンドニ症は微小なダニが成蜂の前胸部気管に寄生する疾病で、重度寄生では呼吸困難や飛翔不能などの症状を示して死亡します。

蜂同士の接触によるダニの伝播により感染が拡大し、他巣への迷い込みにより巣から巣へ広がると考えられています。現在、この疾病に対して使用できる薬剤は日本にありません。



成蜂の気管内に寄生するアカリンドニ

【ミツバチの法定伝染病】

	アメリカ腐蛆病	ヨーロツパ腐蛆病
原因	細菌	細菌
症状	蜂児に感染、巣房の蓋が黒ずむ、粘稠性の死体、刺激臭	蜂児に感染、感染すると灰黒色になり死亡

【ミツバチの届出伝染病】

	バロア病	チョーク病	アカリンドニ症	ノゼマ症
原因	ヘギイタダニ(ダニ)	真菌(カビ)	アカリンドニ(ダニ)	微胞子虫(原虫)
症状	成蜂の矮小化、発育途中での死亡	蛹が菌糸で覆われて死亡	気管内に寄生し、呼吸困難、飛翔不能	働き蜂の下痢、徘徊

ミツバチでは家畜伝染病予防法により上記疾病が法定伝染病と届出伝染病に定められています。これらの疾病が疑われる際には速やかに下記までご連絡ください。

ミツバチには許可された薬剤が少ないので、疾病の予防が重要となります。日頃の衛生管理を徹底しましょう。

●巣箱の設置

風通しの良い乾いた場所を選び、消石灰で土壤消毒してから、火炎消毒した巣箱を設置しましょう

●蜂場への病原体持ち込み防止

専用衣服への着替え、靴底消毒、使用する器具の消毒

中予家畜保健衛生所 TEL 089-990-1333

★携帯電話 090-6282-6129(祝日、休日、平日夜間)